

入院のみ 外来のみ ○共通	適応がん種	レジメン名(略語)	臨床使用分類	抗癌剤適応分類	1コース期間
	膵癌	FOLFIRINOX	日常診療	術前化学療法	2週
			臨床試験承認済・審議中	術後補助療法	
			治験承認済	○進行・再発	予定総コース
		その他()			可能な限り

☆上記のうち該当箇所に○を付けてください

処方No	薬品名(商品名)、溶解液の種類と量	1回投与量	投与時間又は用法	投与日(d1,8など)	投与経路
1	5%ブドウ糖液	500mL	5時間	d1	主管
2	アロキシ Dex ポララミン 生理食塩液	1V 3A 1A 100mL	15分	d1	側管
3	オキサリプラチン 5%ブドウ糖液	85mg/m2 250mL	2時間	d1	側管
4	レボホリナート 5%ブドウ糖液	200mg/m2 250mL	2時間	d1	側管
				CPT-11と並行	
4	カンプト 5%ブドウ糖液	180mg/m2 250mL	2時間	d1	側管
				ILVと並行	
5	5FU 5%ブドウ糖液	400mg/m2 50mL	5分		側管
6	5FU 生理食塩液	2400mg/m2 ad. 100mL ad. 230mL	46時間	d1-3	インヒューサーポンプ
		4600mg以下なら全量100mL、4601mg以上なら全量230mLとする			
7	生食シリンジ	10mL		d1	ポートフラッシュ
8	イメンド イメンド	125mg 80mg	化学療法施行前 1×	d1 d2.3	内服 内服

留意点 および 急性期 有害事象等	<p><投与基準> 好中球2000/mm3以上、血小板10万/mm3以上、T-Bil:ULN×1.5mg/dL以下、PS1以下、UGT1A遺伝子検査の実施</p> <p>【禁忌事項】 PS:2以上、好中球2000/mm3未満、血小板10万/mm3未満、T-Bil:ULN×1.51mg/dL以上、黄疸を認める、下痢を認める、骨髄抑制のある患者、感染症合併、重篤な心疾患、腸閉塞を認める、間質性肺炎、多量の腹水・胸水を認める、機能障害を伴う重度の感覚異常または知覚不全、L-OHP・CPT-11・5FU・ILVに過敏症の既往がある、TS-1投与中および投与中止後7日以内の患者、妊婦、アタザナビル硫酸塩を投与中の患者。</p> <p>【2サイクル目以降の投与条件】 好中球1500/mm3以上、血小板7万5000/mm3以上、T-Bil:ULN×1.5mg/dL以下かつ黄疸を認めない、末梢神経障害G2以下、感染症を有しない。</p> <p><有害事象> 好中球減少、血小板減少、下痢、末梢神経障害、消化器症状</p> <p><減量基準> 【好中球減少(以下のいずれかの条件を満たす場合)】 ・2サイクル目以降の投与可能条件を満たさず投与を延期・500/mm3未満が7日以上持続・感染症又は下痢を併発し、かつ1000/mm3未満 ・発熱性好中球減少症 CPT-11を優先的に減量。CPT-11の投与レベルがL-OHPの投与レベルより低い場合はCPT-11と同じレベルになるまでL-OHPを減量する。投与レベルがレベル-3に達した場合、当該薬剤は投与を中止する。また、上記いずれかの程度に該当する場合は5FU急速静注を中止する</p> <p>【血小板減少(以下のいずれかの条件を満たす場合)】 ・2サイクル目以降の投与可能条件を満たさず投与を延期・50000/mm3未満 L-OHPを優先的に減量。L-OHPの投与レベルがCPT-11の投与レベルより低い場合はL-OHPと同じレベルになるまでCPT-11を減量する。投与レベルがレベル-3に達した場合、当該薬剤は投与を中止する。また、上記いずれかの程度に該当する場合は5FU急速静注を中止する</p> <p>【T-Bil上昇】 2mg/dL以上3mg/dL以下:CPT-11:120mg/m2に減量、 3.1mg/dL以上:90mg/m2</p> <p>【末梢神経障害】 G2:65mg/m2に減量 G3:回復後に65mg/m2に減量</p> <p>【下痢・粘膜炎・手足症候群】 G3以上:5FU持続静注を減量する。</p> <p>【発熱(38℃以上)を伴う下痢】 CPT-11を優先的に減量。CPT-11の投与レベルがL-OHPの投与レベルより低い場合はCPT-11と同じレベルになるまでL-OHPを減量する。</p> <p><投与レベル> レベル-1:65mg/m2(L-OHP)、150mg/m2(CPT-11)、中止(5FU急速静注)、1800mg/m2(持続静注) レベル-2:50mg/m2(L-OHP)、120mg/m2(CPT-11)、中止(5FU急速静注)、1200mg/m2(持続静注) レベル-3:中止</p>
	<p>・FOLFIRINOX versus Gemcitabine for metastatic pancreatic cancer</p>

参考文献	・FOLFIRINOX versus Gemcitabine for metastatic pancreatic cancer
------	---

夜間、帰宅時、対応医師への連絡先	外来診療中:消化器外科外来(3058) 夜間・休診日:当直医(8219)
------------------	--------------------------------------